

中国携帯電話市場の予測

～2006年全期の分析及び2006年～2010年の市場予測～



ROA Group, INC.
東京都新宿区西新宿6-12-4
コイトビル8階 〒160-0023
Tel : 03-3349-8071 Fax : 03-3349-8072
<http://www.researchonasia.com>
research@researchonasia.com

目 次

エグゼクティブサマリー

I 概略

- 1-1 ネットワーク
- 1-2 プラットフォーム
- 1-3 コンテンツ
- 1-4 デバイス
- 1-5 海外戦略とアライアンス

II 中国の移動体通信市場の予測

- 2-1 2006年のオーバービュー
- 2-2 2006年から2010年までの市場予測
 - 2-2-1 中国の携帯電話加入者数
 - 2-2-2 中国のプリペイド携帯電話加入者数
 - 2-2-3 中国のネットワーク別携帯電話加入者数
 - 2-2-4 中国の携帯電話解約率
 - 2-2-5 中国の携帯電話市場のARPU及びデータ通信加入者数
 - 2-2-6 中国の携帯電話市場のデータ加入者数
 - 2-2-7 中国の携帯電話市場の設備投資額

III マーケットダイナミクス

- 3-1 2006年のレビューと今後の予測
 - 3-1-1 チャイナモバイルのレビュー
 - 1) ネットワーク
 - 2) プラットフォーム

- 3) コンテンツ
 - 4) デバイス
 - 5) 戦略的提携及び海外市場への展開
- 3-1-2 チャイナユニコムのリビュー
- 1) ネットワーク
 - 2) プラットフォーム
 - 3) コンテンツ
 - 4) デバイス
 - 5) 戦略的提携及び海外市場への展開

IV 結論

Appendix

- 1 会社概要(チャイナモバイルとチャイナユニコム)
- 2 各キャリアのマーケットシェア
- 3 主要ファクタ創出のための方法論及び仮定

表 目 次

- [表3-1] 2006年チャイナモバイルのマーケットダイナミクス
- [表4-1] 2006年マーケットダイナミクスの概要
- [表4-2] チャイナモバイルとチャイナユニコム競争力レベルの比較

目 次

- [図2-1] 2006年度の中国移動体通信市場の規模
- [図2-2] 中国の携帯電話加入者数の予測 (2005年～ 2010年)
- [図2-3] 中国のプリペイド携帯電話加入者数の予測 (2005年～ 2010年)
- [図2-4] 中国のネットワーク別携帯電話加入者数の予測 (2005年～ 2010年)
- [図2-5] 中国の携帯電話解約率の予測 (2005年～ 2010年)
- [図2-6] 中国の携帯電話市場のARPUの予測 (2005年～ 2010年)
- [図2-7] 中国の携帯電話市場のデータ加入者数の予測 (2005年～ 2010年)
- [図2-8] 中国の携帯電話市場の設備投資額予測 (2005年～ 2010年)
- [図3-1] Eメール対応端末機器とBlackBerry端末
- [図3-2] 「CoolIPAD728G2」の主な仕様
- [図3-3] 2006年チャイナユニコムのマーケットダイナミクス
- [図3-4] サムスン製「W579」及びYuLong製「CoolPAD 728B」端末イメージ
- [図4-1] チャイナモバイル及びチャイナユニコムの優勢領域の比率分析

エグゼクティブサマリー

レポートガイドライン

ROA Groupの分析によれば、中国の移動体通信加入者数は2006年12月時点で4億4,357万人に拡大した。現在中国の移動体通信市場は急速に発展を遂げており、新たな需要を引き出すために、キャリア間のサービス競争が熾烈になっている。2006年以降は新規加入者を取り込みながら約9.07%の年平均成長率を維持する見込みで、2010年の加入者数は7億1,160万人に達すると予測される。これは2010年に予想される中国全体の人口普及率の52.51%に該当する数値である。

一方、チャイナモバイルとチャイナユニコムの世界シェアは、今後もそれぞれ63%、33%の水準を維持していくものとみられる。一方、2006年のプリペイド加入者数は2億9,055万人と予測される。各キャリアは、ポストペイドと同様にプリペイド加入者へもさまざまなサービスを提供しており、今後プリペイド加入者も引き続き増加する見通しである。その結果、2010年には4億7,000万人を突破するものと予想される。

2006年のGSM加入者数は4億707万人に達するとみられるが、2008年の約4億8,000万人をピークに、2009年以降は3Gへの移行が早まることで、次第に減少に転じていくと予想される。一方、2006年のCDMA加入者数は3,649万人で、2010年には4,012万人へ増加するとみられる。

3Gの場合、ライセンスの申請から発行に至る手続き時期を中国政府が先送りしている状況が挙げられる。2006年中旬にTD-SCDMAの実証実験が始まり、合わせてキャリアが再度3Gに対する計画を樹立し、ネットワーク敷設の推進準備を進める状況から、3Gライセンスの具体的な発行時期は中国の通信市場の構造改革の有無とは別に、2007年末になるものと予想される。3Gサービスの場合、その加入者数は導入元年である2008年に3,379万人、そして2010年には約2億3,000万人に急拡大すると推定される。

キャリア間の加入者囲い込みや新規加入者獲得のための熾烈な戦いにより、

エグゼクティブサマリー

2006年通年の解約率は2.57%となった。今後、新規サービスの開始やネットワークの拡張、また特に3G技術の台頭といった不確定要素が影響し、移動体通信市場の解約率はさらに多少の変動幅がみられる予想される。

2006年の平均ARPUは76.9RMB¹であり、そのうちチャイナモバイルは88RMB、チャイナユニコムは53.5RMBと2005年比で多少増加した。各キャリアの努力により通話量自体は大幅増となったが、加入者数の増加に比べて成長幅が小幅上方にとどまったため、ARPUは期待していたほど伸びなかった。今後、キャリアはARPUを増やすためのデータサービス強化やさまざまな料金プラン等、新たな動きをさらに活発化させていくとみられ、2010年の中国移動体通信市場の平均ARPUは83.2RMBに達するとみられる。データ加入者数の場合、年平均12.69%の成長率で増加し、2010年には全体加入者数の約83.4%がデータサービスを利用するようになるものと推定される。(2006年末基準では約73.6%がデータサービスを利用)

2006年における中国の移動体通信市場の合計売上高は、3,758億RMBと予想される。それ以降は年平均7.87%の成長率で増加し、2010年には5,490億RMBの巨大市場を形成するものとみられる。

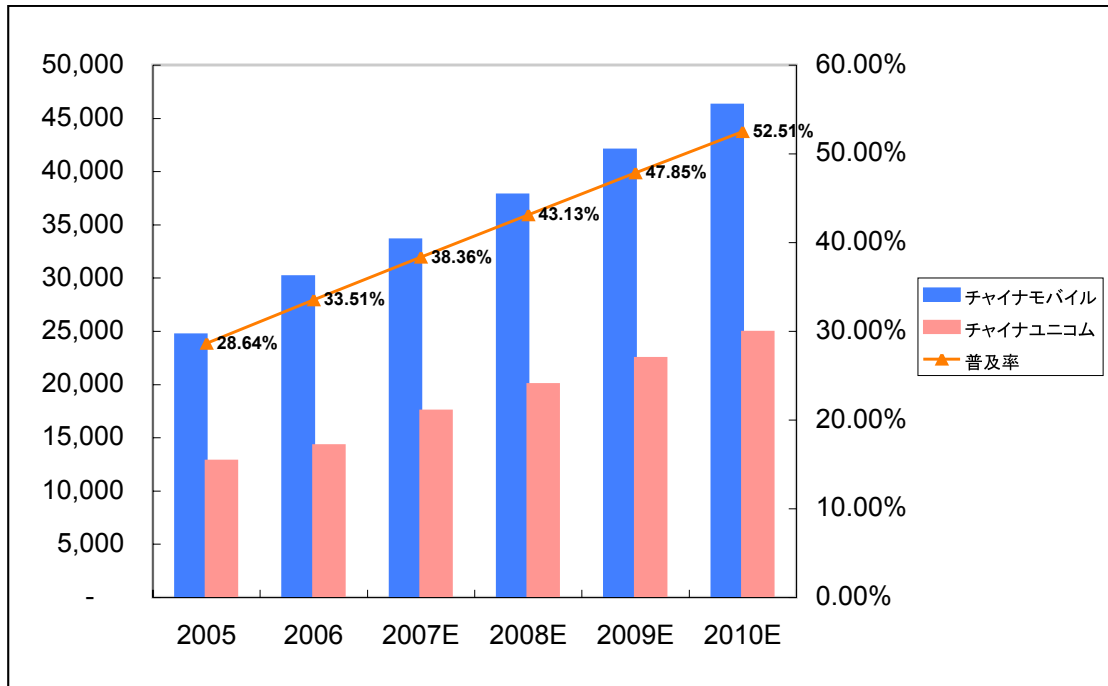
2006年における中国移動体通信市場の設備投資額(CAPEX)は1,085.50億RMBであり、2010年には1,274.53億RMBと推定される。

1 1RMB=15.06円(2007年8月現在)

エグゼクティブサマリー

[図] 中国の移動体通信加入者数の成長規模(2005～2010：分析値と予測値)

単位：万人



Source: ROA Group

エグゼクティブサマリー

本レポートの理解を深めるための特長を紹介

本レポートはROA Groupが毎年発行する定期レポートで、アジア地域の中でもコア戦略国家である日本、中国、韓国の移動体通信市場予測を行なったものである。特に主要なキープレイヤーの戦略や事業展開に対する分析及び今後の展望を中心に作成されたレポートである。

以下は発行周期によるマーケットデータとマーケットダイナミクスの詳細である。

1) マーケットデータ(2001~2010)

人口動勢(2001~2010)

- 人口
- 名目GDP
- 名目1人あたりのGDP
- 消費者物価指数
- 為替レート

移動体通信キャリア別の加入者数(2001~2010)

- チャイナモバイル
- チャイナユニコム
- 合計

携帯電話加入者のパッケージプラン形態(2001~2010)

- プリペイド
- ポストペイド

エグゼクティブサマリー

携帯電話の普及率 (2001～2010)

世代別・ネットワーク別の携帯電話加入者数 (2001～2010)

-GSM

-CDMA

-3G

解約率 (2001～2010)

ARPU (2001～2010)

-合計ARPU

-合計収入 (売上)

音声及びデータ通信別の分析 (2001～2010)

-音声通信加入者数

-データ通信加入者数

設備投資 (CAPEX) (2001～2010)

-合計設備投資

-チャイナモバイル

-チャイナユニコム